

令和5年度第3回区政会議における防災に関する意見要旨

1 日 時 令和5年12月7日（木）午後6時30分から午後8時17分

2 場 所 住吉区役所 4階 大会議室

3 出席者

（委員）岩根委員、鍛冶本委員、栗野委員、齋木委員、繁田委員、菅原委員、佃井委員、辻野委員、中野委員、仲本委員、浜田委員、福留委員、藤本委員、梶野委員、山本委員、渡邊委員、和田委員

（区役所）区長、副区長、各課長

4 主な意見

委員意見

地域見守り支援システムについて、登録者数は減少傾向にあるものの、高齢化が進んでいるなかで登録者以外に見守りが必要な方が増加しているように感じる。普段の見守りを地域防災に繋げていくためにも、登録者だけの支援にならないよう、取組の拡大が必要。

【対応方針】

地域見守り支援システムは、区から提供する「災害時要援護者支援台帳」をもとに、普段から地域の中で要援護者の方々に声かけや見守り活動を行っていただくなどの体制を整え、顔の見える関係を作ってもらったうえで、災害時の個別支援プランを作成し、災害時に一人でも多くの命を助けていただく、地域の支えあいの仕組みです。

ご意見のとおり、災害時要援護者支援台帳の登録者数は年々減少傾向にあります。台帳に登録されていない方で、気になる方がいらっしゃいましたら、ゆるやかに見守り活動を行っていただき、必要に応じて災害時要援護者支援台帳への登録を促していただくことで、地域の見守りの輪がより広がっていくと考えておりますので、引き続きご協力をお願いいたします。